

第4回泉佐野丘陵緑地運営会議設立準備会

大阪府では、泉佐野丘陵緑地の公園整備について、各界専門家からなる標記の運営会議設立準備会を設置し、府民の皆様にご理解いただける公園運営計画案の策定に努めてまいります。

この度、第4回の会議を開催いたしました。その概要は下記のとおりです。

会議の概要

- ・日時：2008年3月18日（水）9:30～11:30
- ・場所：ホテルプリムローズ大阪 3F（高砂西）
- ・出席委員（敬称省略）
 - 大阪府立大学生命環境科学部緑地環境科学科教授 増田 昇(委員長)
 - 大阪府立大学生命環境科学部緑地環境科学科教授 前中 久行
 - 大阪府立大学生命環境科学部緑地環境科学科准教授 下村 泰彦
 - NPO 法人プラス・アーツ代表 永田 宏和
 - 大阪ガス エネルギー・文化研究所研究員 弘本 由香里
 - 泉佐野観光ボランティア協会会長 吉野 勝
 - 泉佐野市都市整備部長 松下 義彦（代理出席）

審議の概要

今後の議論に向けて事務局より以下の議案について説明を行った。

議題1「テーマの読み替えについて」

- ・現行のテーマをさらに読み替えた府民にわかりやすいテーマ設定について、事務局から説明を行った。

議題2「公園の運営体制について」

- ・今後、当準備会や後に設置される運営会議等について、事務局から説明を行った。

議案3「パーククラブの体制について」

- ・パーククラブを組織するにあたり、その組織構成について、事務局から説明を行った。

議案4「公園の評価について」

- ・公園を評価するにあたり、その評価方法や評価指標について、事務局から説明を行なった。

各委員の主な意見、質疑

- ・フルメイド区域の整備は極力最小化し、利用者の活動を受入れるための基盤整備を自然修復型で実施しているということを府民に伝えていくことが必要。
- ・パーククラブだけが計画地で活動を行なうのではなく、既存の団体も計画地で活動できるよう

なくみを検討することが必要。

- ・パーククラブについて「パークマネージャー」「パークレンジャー」「パークフレンド」の関係は、資料で示されているようにピラミッドのような感じにはならない。また、公園との関わりの度合いは3種とも同じである。そのあたりをうまく表現することが必要。
- ・地域の理解を得るため、パーククラブ養成講座を実施する前に、府民に公園を知ってもらえるようなイベントを何回か実施し、府民の意向も把握した上でパーククラブ養成講座を実施することを検討すべき。
- ・パーククラブ養成講座は個人の技術量の違いに対応するため、技術の熟度別コース設定を検討することが必要。
- ・事業評価の項目が書かれているが、毎年評価する項目と5年あるいは10年ごとで評価する項目がある。そういう点を配慮した項目整理が必要。
- ・非常に多くの評価項目があがってきているが、計画地にとって評価項目のランク付けをすべき。また、評価の基準が必要であるので、評価の基準も他の公園とは少し違うような視点を加えることが必要。

委員長のまとめ

- ・パーククラブ、既存組織、企業、行政、民間企業、研究機関が入った運営会議をつくられた方がよい。運営会議の基本的な役割については準備会として了解いただけた。課題としては「運営会議のメンバー構成と選定方法の検討」があげられる。
- ・パーククラブ養成講座については、極力早く講座を開催していただきたい。現地の状況や公園の目標を明確に理解できるカリキュラムを体験型も含めて実施する。また、その卒業生の何割かが公園運営の担い手として活躍してもらいたいということは、準備会として了解いただけた。課題としては「パーククラブの公募時期、講師陣、カリキュラムの具体化の検討」や「運営会議やパーククラブ養成講座の立ち上げの際に、何らかの形として現地での協同作業を実施して、そこの中から運営会議やパーククラブ養成講座に公募するという方法論を検討する」があげられる。
- ・課題が残されているため、第4回の準備会で終わりではなく、今までの議論の内容は、事務局で案としてとりまとめて頂きたい。残された課題については、時間をかけて検討し、来年度も各委員に持ち回り審議をさせて頂きたい。